

上五島空港

空港の概況

上五島空港は、西海国立公園五島列島の北部、中通島の離れ小島である南北1km、東西2kmの頭ヶ島の山頂を切り開き、4番目の県営空港として、昭和56年4月に開港したSTOL(短距離離着陸)空港で、標高80mの当空港は、山岳空港と海上空港の両特性を兼ねた空港です。



主な沿革

昭和56年 4月 供用開始(R/W800m×25m)

※平成18年4月 定期便廃止

空港諸元

種別	地方管理空港(旧第三種空港)
設置管理者	長崎県
所在地	長崎県南松浦郡新上五島町
標高	80m
滑走路	800m×25m
航空灯火	進入角指示灯、滑走路末端識別灯、エプロン照明灯
運用時間	10:00～16:00